学校番号	１００７

令和３年度　音楽科

教科	音楽	科目	ソルフェージュ	単位数	２単位	年次	２年次
講座名	保育音楽Ⅰ						
使用教科書	なし						
副教材等	阿部直美のふれあい手あそび歌あそび　（株式会社世界文化社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この講座は、楽典、階名唱、手遊び歌の実演・創作、ピアノ演奏の４つの分野を年間通して勉強します。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テスト、筆記テストで評価します。
・それぞれの活動に先入観や好き嫌いなく取り組むことで、保育の現場で必要とされる音楽の力を基礎から身に付けることができます。
・この講座で取り組んだことが、保育の現場で生かされ、皆さんの支えとなることを願っています。

2　学習の到達目標

・楽譜を読む力をつける。
・鍵盤楽器（ピアノ、キーボード）の基礎技術を獲得する。
・表現力を高める
・手遊び、歌あそびに取り組み習得する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	C:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	保育の現場で活用される音楽や音楽文化に関心をもち、楽典、階名唱、手遊び歌の実演・創作、ピアノ演奏の学習に主体的に取り組もうとする。	その音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、階名唱、手遊び歌の実演・創作、ピアノ演奏を工夫し、どのように歌唱・演奏するかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をする為に必要な楽典、の知識や階名唱、手遊び歌の実演・創作、ピアノ演奏の技能を身に付け、創造的に表現している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	授業態度 学習の取り組み状況 （観察・聴取） 学習プリントの作成状況	学習の取り組み状況 （観察・聴取）	実技課題進度状況 学習の取り組み状況 （観察・聴取） 創作曲	学習プリント 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1ターム	手遊びを楽しもう	＜手遊び歌＞ 手をたたきましょう 友達できたら のぼるよコアラ いっちょうめのどらねこ	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したい事を伝える為の歌唱技術を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ピアノを練習するために	＜楽典・ソルフェージュ＞ 音符の長さ 階名について 階名唱	○		○		a:楽譜に書かれた情報を読み取り歌い、リズム打ちをするための学習に主体的に取り組んでいる。 c: 楽譜を読譜し、表現したい事を伝える為の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		＜ピアノ演奏＞ プリント「ピアノの練習に向けて」 任意のピアノ曲	○		○		a:ピアノの練習方法を知るための学習に主体的に取り組んでいる。 c:ピアノを練習するために必要な技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
2ターム	手遊びを知ろう	＜手遊び歌＞ くいしんぼゴリラのうた トントントントンひげじいさん ころりんたまご うちゅう人とおはなし	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したい事を伝える為の歌唱技術を身に付けている。	

	リズム遊びを作ろう	＜創作＞ 「たなばたさま」を使ってリズムアンサンブルを作ろう	○			○	a:主体的に作品を記譜、記録したり、互いに発表しあったりする活動に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 d:できあがった作品について音楽の諸要素の働きがイメージにふさわしいものになっているか考えながら創造的に聞いている。	
	ピアノを練習するために	＜楽典・ソルフェージュ＞ 階名唱	○		○		a:楽譜に書かれた情報を読み取り歌い、リズム打ちをするための学習に主体的に取り組んでいる。 c: 楽譜を読譜し、表現したい事を伝える為の技能を身に付けている。	
		＜ピアノ演奏＞ 任意のピアノ曲	○		○		a:ピアノの練習方法を身に付ける為の学習に主体的に取り組んでいる。 c:ピアノを練習するために必要な技能を身につけている。	
3ターム	手遊びを知ろう	＜手遊び歌＞ いっぽんといっぽんで ピクニック 海にいったよ 山にいったよ とうさんゆびどこです 他	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したい事を伝える為の歌唱技術を身に付けている。	
	ピアノを練習するために	＜楽典・ソルフェージュ＞ 階名唱	○		○		a:楽譜に書かれた情報を読み取り歌い、リズム打ちをするための学習に主体的に取り組んでいる。 c: 楽譜を読譜し、表現したい事を伝える為の技能を身に付けている。	
		＜ピアノ演奏＞ 任意のピアノ曲	○		○		a:ピアノの練習方法を身に付ける為の学習に主体的に取り組んでいる。 c:ピアノを練習するために必要な技能を身につけている。	

4ターム	手遊びをつくろう	＜手遊び歌＞ これくらいのおべんとうばこに これくらいのおべんとうばこに (パワーアップバージョン)	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したい事を伝える為の歌唱技術を身に付けている。	
		＜創作＞ これくらいのおべんとうばこにをモチーフに手遊びを作ってプレゼン！	○			○	a:主体的に作品を記譜、記録したり、互いに発表しあったりする活動に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 d:できあがった作品について音楽の諸要素の働きがイメージにふさわしいものになっているか考えながら創造的に聴いている。	
	ピアノを練習するために	＜楽典・ソルフェージュ＞ 階名唱	○		○		a:楽譜に書かれた情報を読み取り歌い、リズム打ちをするための学習に主体的に取り組んでいる。 c: 楽譜を読譜し、表現したい事を伝える為の技能を身に付けている。	
		＜ピアノ演奏＞ 任意のピアノ曲	○		○		a:ピアノの練習方法を身に付ける為の学習に主体的に取り組んでいる。 c:ピアノを練習するために必要な技能を身につけている。	

※　表中の観点について　a: 音楽への関心・意欲・態度　b: 音楽表現の創意工夫

c: 音楽表現の技能　　d: 鑑賞の能力

原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。